

空間あい サロンコンサート ～あなたに愛と調和と芸術を～

令和8年度 文化庁劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

18歳以下**100名無料招待**
(未就学児不可)



大嶋義実 & 佐藤直紀

ゴールデンデュオ・リサイタル パートII

Yoshimi Oshima & Naoki Sato Duo Recital

2本の純金フルートが描く プラハの思い出

大嶋義実

フルート
元プラハ放送交響楽団首席奏者
群馬交響楽団

佐藤直紀

フルート
現チェコフィルハーモニー交響楽団首席奏者

B.スメタナ/モルダウ —2本のフルートとピアノのための— (佐藤直紀編)

佐藤直紀/饗 —2本のフルートとピアノのための—

F.ドップラー/ハンガリー小二重奏曲

スペシャルトーク/プラハへの思い出 サプライズ演奏

P.ヴラニツキー/フルート二重奏曲ニ長調 作品II-1

F.&K.ドップラー/プラハの思い出

特別
協賛



Green engineering
株式会社 しみづ農園



株式会社 丸越

笠原純子
(ピアノ)



2026年 **8月3日** [月] 18:30開演
(18:00開場)

高崎芸術劇場
音楽ホール

Monday, August 3rd, 2026 18:00 (Open 18:30) TAKASAKI CITY THEATRE CONCERT HALL

全席指定(税込) 前売 S席4,000円 A席3,000円 当日 S席4,500円 A席3,500円 学生 2,000円

[主催] 株式会社 空間あい [後援] (公財)群馬交響楽団、高崎市、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA

大嶋義実、佐藤直紀を迎えて 〜プラハの思い出〜

群馬交響楽団は、2020年10月コロナ禍のなか群馬名誉指揮者高関健によるスメタナの「わが祖国」全曲を演奏。プレトークで高関は、当時音楽監督として携わった群馬欧州公演におけるプラハの春国際音楽祭での思い出などを語った。

群馬は1994年、草津町、高崎市の姉妹都市でもあるカルロリヴァリー・ピルゼンを皮切りに、プラハからブタペスト、ブラチスラバ、ウィーンと、ハブスブルグ三都を含む初の海外公演を行った。なかでもプラハにおける「プラハの春国際音楽祭」への登場は、群馬にとってはもちろん、同音楽祭にとっても画期的なひと時となった。というのもこの音楽祭は、悲惨な戦争を経験した世界が希求する「平和」のため、音楽の力を信じる人々によって戦後間もなく設立されたからだ。それは取りもなおさず終戦直後に産声を上げた群馬の理念と一致する。

1992年打ち合わせのため、私は大嶋の案内でプラハを初めて訪れた。当時プラハの春の音楽祭の委員長をつとめていた作曲家でもあるペトル・エーベン氏とプラハ市民会館内市長ホールで会談するためだ。大嶋は群馬入団以前、プラハ放送交響楽団の首席奏者を務め、同地の音楽関係者とときわめて近い関係を築いていた。その縁をつなぐためにも、平和に対する同じ想いを共有する群馬の「プラハの春の国際音楽祭」への招待を氏に願い出た。群馬が、同音楽祭と同じ目的によって設立されたことを力説したことが懐かしい。

当時大嶋は、オーケストラ活動の傍らプラハを含め海外のみならず、日本においても積極的にソロ活動も展開していた。そのころ安中市に生まれ、群馬の演奏に親しみ、幼稚園時代から母親に連れられ県内で行われる大嶋のほとんどの演奏会に顔を出していたのが、現チェコ・フィル首席フルート奏者佐藤直紀だ。彼は長じて自らもフルートを吹きたいと、すでに群馬を退団し、京都市立芸術大学で教鞭をとるようになっていた大嶋の門をたたいた。同大卒業後はハンブルクに留学、ヨーロッパ各地のオーケストラで客演奏者を務めた後、2019年ついにこの座を射止めた。

チェコの首都プラハから帰国した大嶋が群馬とプラハの縁をつなぎ、その縁がまたチェコとつながるという国際的サイクルが現実のものとなった。世界的オーケストラの首席フルート奏者の歩みが群馬という土壌から育まれたことを思うとき、それはまさに群馬の示したポテンシャルそのものともいえるのではない。

今回のデュオ・リサイタルは、二人の歴史的軌跡とインターナショナルな文化が感じられる場であり、日本クラシック音楽界におけるエポックメイキングなコンサートともなろう。群馬交響楽団の音楽的躍動、師弟による芸術的結晶、そして国際舞台への挑戦は、今後も日本音楽界に刺激と希望を与え続けるに違いない。その響きが、聴衆の心へと深く届く瞬間を待つばかりだ。なお両名の愛器が共に純金であることがコンサートタイトルの由来であることを付け加えておく。

(株)空間あい 新井 浄 (元群馬交響楽団)

フルート 大嶋義実 Yoshimi Oshima, Flute

京都市立芸術大学卒業後、ウィーン国立音大を最優秀で卒業。プラハ放送交響楽団首席フルート奏者、群馬交響楽団第一フルート奏者を歴任。2024年まで京都市立芸術大学副学長・理事、同大音楽学部・大学院研究科教授を務め、現在同大名誉教授。日本音楽コンクール他、内外のコンクールに入賞入選。ソリストとして国内はもとよりヨーロッパ各地、アジア諸都市で毎年公演を行なうほか、プラハ響、群馬響、京響をはじめ数多くのオーケストラと協演。13枚のCDをリリース。2008年発売の《モーツァルト・フルート四重奏、協奏曲集》は「モーツァルト信奉者たちを統合するための全てを備えている」と仏ディアパソン誌上で評される等、日本、海外の主要音楽誌において高い評価を得た。著書「演奏家の語る音楽の哲学」が第1回音楽本大賞読者賞を受賞。他に「音楽力が高まる17の『なに?』」も好評を博し、音楽之友社版シュールホフ、マルチヌー「フルート・ソナタ」解説は邦文による貴重な資料となっている。

フルート 佐藤直紀 Naoki Sato, Flute

群馬県安中市生まれ。11歳よりフルートを始める。新島学園中学・高校を卒業後、京都市立芸術大学にて大嶋義実、ドイツ・ハンブルク音楽院にてヴァルドー・ケネン、ハンブルク音楽大学にてハンス=ウド・ハインツマンの各氏に師事。

その後、スウェーデンのヨンショーピン・シンフォニエッタ、同じくスウェーデンのノルランズ・オペラにて客演奏者を務めた後、2019年よりチェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者に就任。ソリストとしてチェコ国内のオーケストラと共演するほか、「笛僧」という名前で作・編曲活動もおこなっている。現在「季刊ムラマツ」にて、フルート奏者列伝『ドイツ・フルート奏者の系譜』を執筆、連載中

ピアノ 笠原純子 Junko Kasahara, Piano

国際ロータリー財団奨学生として渡欧後、ドイツ国立ザール音大大学院・国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。ABC新人コンサートオーディション、ルービンシュタイン国際ピアノコンクール他入賞。ヨーロッパ、アメリカ、南米、ロシア、イスラエル、日本各地でのリサイタルの他、欧州各地の国際音楽祭に度々出演。ベルリン・フィルのコンサートマスターや首席奏者、ザグレブ弦楽四重奏団、チェコ・フィル弦楽三重奏団、同四重奏団、同六重奏団、ゴラン・コンチャル、イルジー・ヴォディチュカらとの室内楽、サンクトペテルブルク国立カペラ交響楽団、ザグレブ・フィル等、国内外のオーケストラとの協演も数多い。現在、大阪芸術大学、京都女子大学非常勤講師をつとめる他、IMAマエストロを主宰、三十年來のアレクサンダー・テクニク研鑽を活かした演奏指導を行い、反響を得ている。ラプトサウンドより5枚のCDをリリース、好評を博す。

チケット取り扱い

4月2日(木)チケット発売

■ Web

高崎芸術劇場
メンバーズ
(要・無料登録)



■ 窓口

・高崎芸術劇場チケットカウンター
・群馬音楽センター
・高崎市文化会館
・高崎シティギャラリー
ほか 高崎市施設プレイガイド

■ 電話

高崎芸術劇場チケットセンター
027-321-3900(10:00~18:00)

■ 株式会社 空間あい

090-1815-4608 info@kuukanai.com

ゆうちょ銀行 振替口座 00280-2-141735
カ)クウカンアイ

※上記にご送金いただければ
チケットを送付します。

WEBサイトからも購入できます▶



本公演S席と右記2公演の入場料の合計12,000円を**セット券10,000円**で販売します。
予約は(株)空間あいへメール、電話かWEB(右のQRコード)でお願いします。

6月23日
まで

(枚数に制限あり)

お得な 3公演セット券 のご案内

ヴァハン・マルディロシアン迎えて 〜珠玉の名曲集〜

6/24
14:00開演

前橋 汀子

ヴァイオリンリサイタル

入場料:A席4,000円



6/28
14:00開演

イタリア歌曲の
真髓

入場料:S席4,000円

